

- 1 警察との共同訓練
- 2 第27次隊現地で活動開始
- 3 旅団管内各駐屯地で入隊式
- 4 新着任部隊長等の紹介



警察(道警釧路方面本部)との共同訓練

第五旅団は、平成二十一年三月十日〜十八日までの間、北海道警察釧路方面本部と鹿追駐屯地及び自然別演習場において共同訓練を実施した。

陸上自衛隊と北海道警察による訓練は昨年の第七師団に引き続き四回目。

訓練は、一九九九年と二〇〇一年に国内で発生した不審船事案を受け、二〇〇二年に改正された北部方面総監と北海道警察本部長との間で締結した現地協定に基づき、武装工作員が潜水艇で道内に上陸したとの想定で自衛



検問所における不審者の検問(検問訓練)

隊と警察との任務の分担、共同対処要領を検証するとともに、第五旅団と道警釧路方面本部の緊密な連携要領を構築すること

を目的に実施した。

訓練には、旅団から隊員約九〇名、道警釧路方面本部から警察官約七〇名が参加し、自衛隊と警察が共同して対処するための共同調整所の設置、共同検索、検問、航空輸送、地上輸送等の訓練を行った。

また、十八日には航空輸送、地上輸送の訓練を報道(テレビ四社、新聞三社、雑誌一社)に公開した。



陸自ヘリから車両へ移動する警察官(航空輸送訓練)



パトカー先導による検問所までの移動(地上輸送訓練)



鹿追駐屯地体育館で実施された訓練開始式



自衛隊車両に乗車する警察官



共同検索訓練



訓練終了式における両統裁官
(右:第5旅団長、左:道警釧路方面本部長)

ゴラン高原派遣輸送隊 (第27次隊)活動開始!

ゴラン高原派遣輸送隊第27次隊(隊長 高木3佐)は、第26次隊からの業務引き継ぎを完了し、3月4日に指揮を移転した。高木隊長以下43名は、ゴラン高原の地で本格的に活動を開始し、各種業務を整斉と実施するとともに、他国行事に参加し、交流を深めている。



燃料フィルター交換中の施設機械修理陸曹 菊池3曹(5後支)



UNDOF司令官立ち会いの下、指揮転移書にサインする
高木27次隊長(左)と藤田26次隊長(右)



燃料給油中の装輪操縦陸曹 藤田2曹(5通)

旅団管内各駐屯地で入隊式

第5旅団は、4月9日・12日の両日、旅団管内各駐屯地（帯広・美幌・釧路）において新隊員入隊式を挙行政した。

帯広駐屯地（担任：4普連）は、一般曹候補生126名及び一般2士30名、美幌駐屯地（担任：6普連）は、一般2士40名、釧路駐屯地（担任：27普連）は、一般2士40名が入隊し、多数の来賓・家族の見守る中厳粛かつ盛大に実施され、出席した家族は入隊わずか2週間弱で立派に成長した我が子の凛々しい姿に驚いていた。これから約3ヶ月間自衛官としての基礎的な訓練を受けた後、更に3ヶ月間職種別の後期教育を経て一般部隊へと配属される。

釧路駐屯地 4月 9日



太鼓演奏で入隊を祝う



まだまだ緊張した表情の新隊員

帯広駐屯地 4月12日



入隊者全員で宣誓



担任官 第4普通科連隊長より任命書を受領

美幌駐屯地 4月12日



徐々に我が子と会話し笑顔がこぼれる



銃の重さを噛み締める

第5旅団司令部幕僚長離着任

第5旅団司令部幕僚長

階級 1等陸佐

(ふかだ ひさのり)

氏名 深田 尚則

生年月日 S.36.3.13

出身地 兵庫県

前勤務 第4施設群長



紹介行事で旅団長から紹介される深田幕僚長

前幕僚長三原一佐は少年工科学校副学校長へご栄転



「漫画び〜とくん」

は、原作者三原1佐のご栄転により先月号で終了しました。
2年半の間、ありがとうございました。

駐屯地隊員に見送られ帯広を後にする三原前幕僚長

部下に胸上げされる三原前幕僚長

第6普通科連隊長

階級 1等陸佐

(てるい やすひろ)

氏名 照井 康弘

生年月日 S.34.6.22

出身地 静岡県

前勤務地 技術研究本部



第27普通科連隊長

階級 1等陸佐

(ふくなが まし)

氏名 福永 正之

生年月日 S.32.8.24

出身地 兵庫県

前勤務地 中部方面総監部



第5対舟艇 対戦車中隊長

階級 3等陸佐

(みしな けんいちろう)

氏名 三品 憲一郎

生年月日 S.48.8.15

出身地 静岡県

前勤務地 富士学校



第5高射特科中隊長

階級 3等陸佐

(ふじた かつとし)

氏名 藤田 勝利

生年月日 S.42.2.13

出身地 熊本県

前勤務地 4高特大



新着任部隊長の紹介